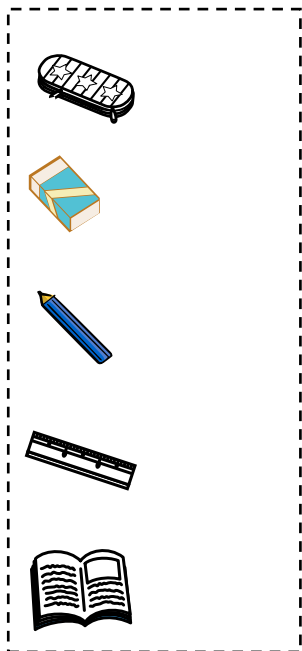
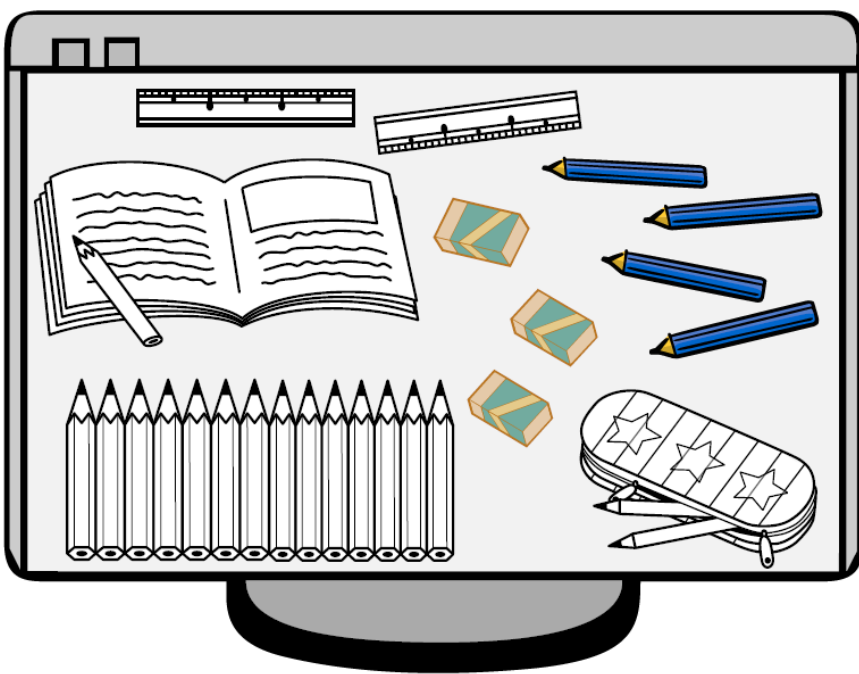
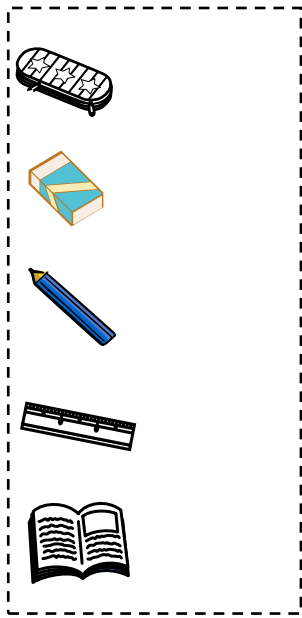
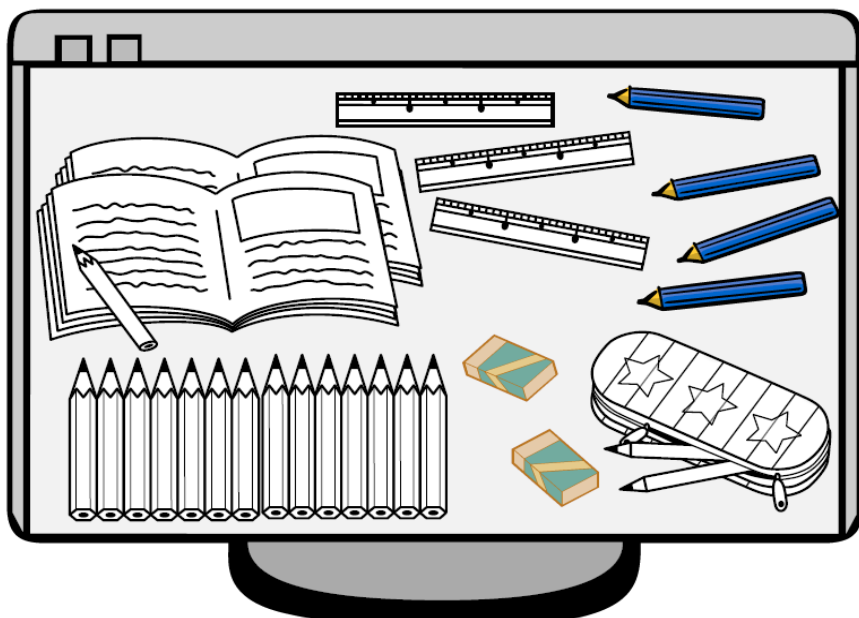


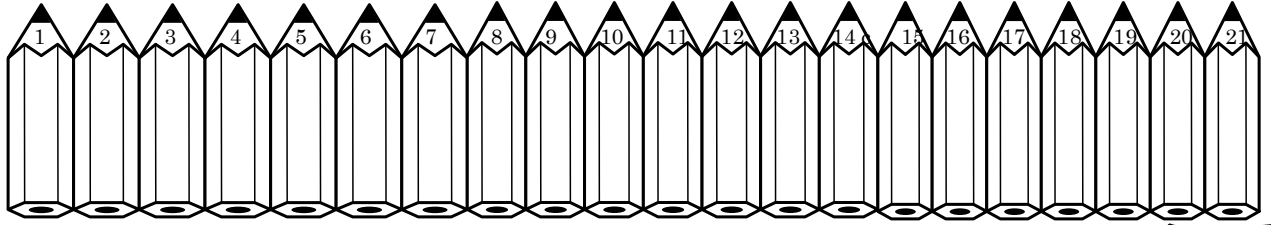


No. _____ Name _____

英語で教えてみよう!



チャレンジ～自分の筆箱の中の鉛筆やペンを英語で数えて、同じ数だけ色をぬってみよう～



☆「英語で教えてみよう！」の会話例

チャレンジ2

T2: How many pen cases do you have?

T1: I have one pen case.

T2: How many erasers do you have?

T1: I have two erasers.

T2: How many pencils do you have?

T1: I have twenty-one pencils.

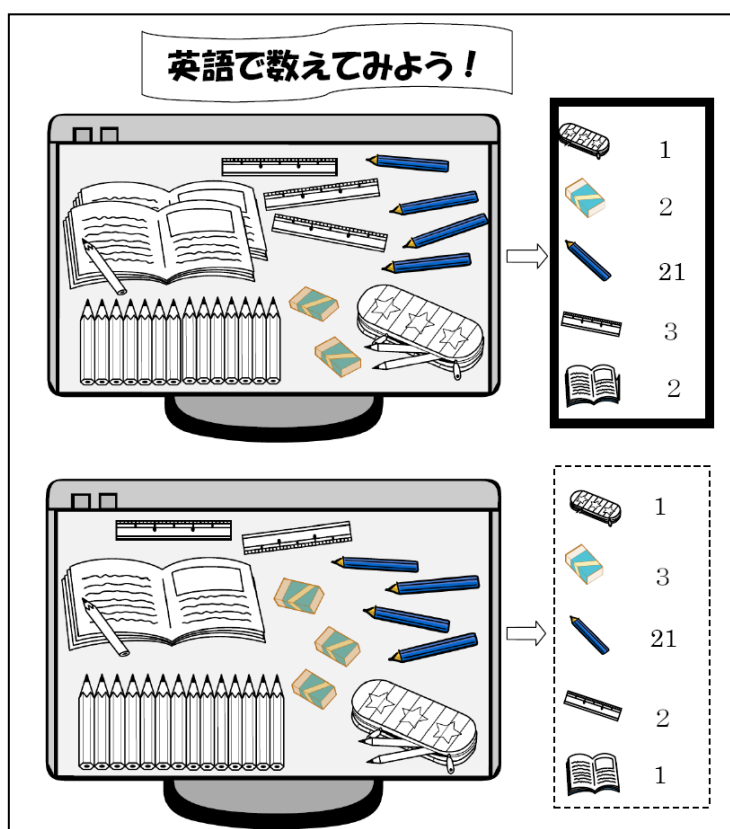
T2: How many rulers do you have?

T1: I have three rulers.

T2: How many notebooks do you have?

T1: I have two notebooks.

解答例



E-チャレンジ活用例

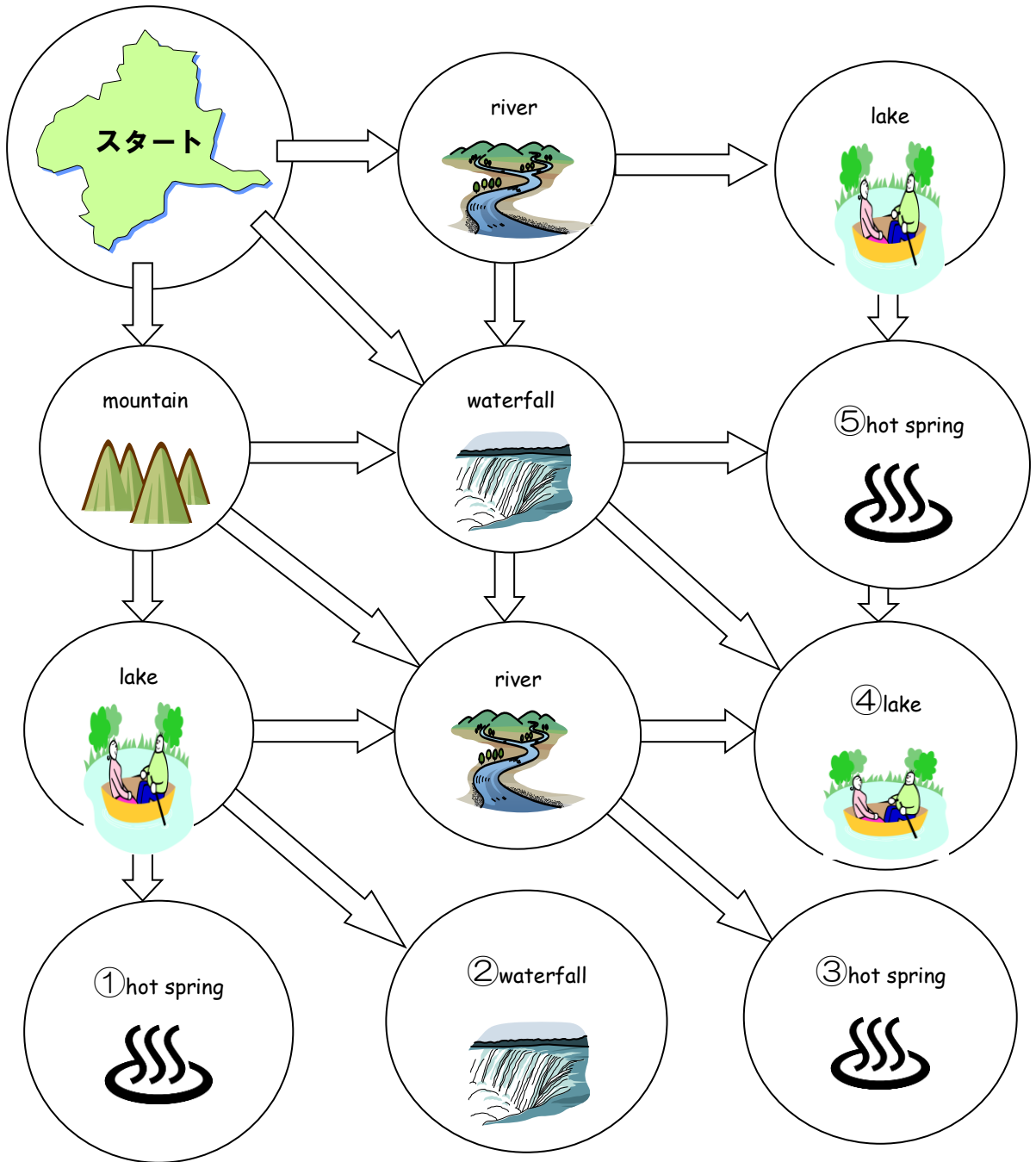
活動名	英語で数えてみよう！	言語材料	How many <u>pencils</u> ? <u>Twenty pencils</u> .
準備物	E-チャレンジ（資料①）		
<p data-bbox="188 483 595 524">☆英語で数えてみよう！</p> <p data-bbox="847 483 1445 524">【評価の観点：外国語を理解する力】</p> <div data-bbox="217 551 1445 891" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p data-bbox="236 564 837 604">英語で数えてみよう！の手順（資料①）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="236 609 1394 685">① （チャレンジ1）2枚の絵を見ながら、文房具の数を隣の友だちと指でさしながら声を出して英語で数えるように伝える。 <li data-bbox="236 689 1345 725">② それぞれの机の数えた文房具の数を横の枠の中に数字で記入することを伝える。 <li data-bbox="236 730 1422 801">③ （チャレンジ2）T1とT2は「英語で数えてみよう！」の会話例にならって、机の上の文房具の数についてやり取りをする。 <li data-bbox="236 806 1182 842">④ 会話を聞いて、T1の机を選んで点線を鉛筆でなぞるように伝える。 </div> <p data-bbox="248 931 1441 1003">*（やってみよう！）は、児童の筆箱の中にある鉛筆とペンの数を声を出して英語で数え、その本数分の鉛筆に色を塗るように伝える。</p> <p data-bbox="248 1008 1481 1079">*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材Ⅰ（㉓～㉕）を活用することもできる。</p>			



No. _____ Name _____

先生たちの春休み

先生たちは春休みにどこに行きたいのかな？
話を聞きながら、線でたどっていきましょう。
最後は何番に着くのかな。



先生 番

先生 番

☆ 「先生たちの春休み」の会話例

1回目

T1: Ms Ogawa, where do you want to go?

T2: I want to go to a mountain.

T1: Where do you want to go?

T2: I want to go to a river.

T1: Where do you want to go?

T2: I want to go to a hot spring.

T2: I like a hot spring.

T1: OK! Let's go! など

答え③hot spring

2回目

T2: Mr. Kimura, where do you want to go?

T1: I want to go to a river.

T2: Where do you want to go?

T1: I want to go to a waterfall.

T2: Where do you want to go?

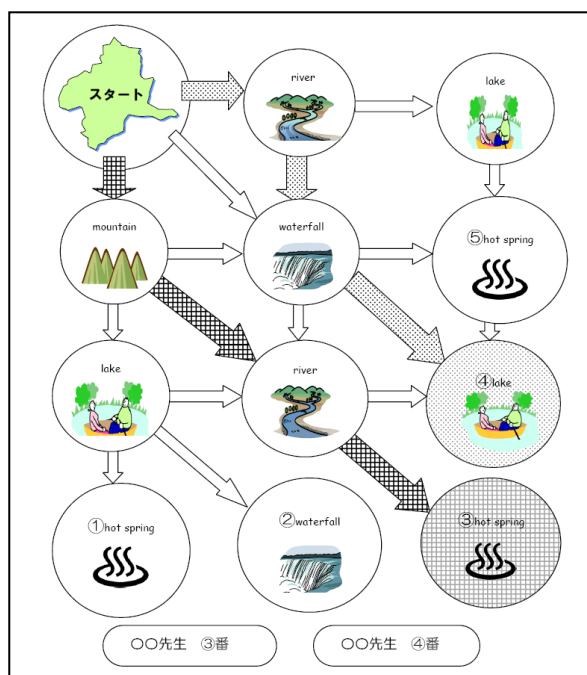
T1: I want to go to a lake.

T1: I like fishing.

T2: Nice! Let's go together! など

答え④lake

解答例



E-チャレンジ活用例

活動名	先生たちの春休み	言語材料	Where do you want to go? I want to go to <u>Gunma Flower Park</u> .
準備物	E-チャレンジ（資料①）		
<p data-bbox="180 517 529 562">☆先生たちの春休み</p> <p data-bbox="887 517 1477 562">【評価の観点：外国語を理解する力】</p> <div data-bbox="231 607 1457 853" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p data-bbox="264 622 852 663">「先生たちの春休み」の手順（資料①）</p> <ol data-bbox="252 665 1358 815" style="list-style-type: none"> ① T1 と T2 で会話をして、行きたい場所を伝える。 ② スタートから線でたどり、最後にどこの場所に着くのかを答えるように伝える。 ③ 最後にたどり着いた場所の番号①～⑤を書くように伝える。 ④ 答えを確認する。 </div> <p data-bbox="276 891 1267 931">*ワークシート（資料①）に、あらかじめ学校の先生の名前を入れておく。</p> <p data-bbox="276 931 1482 1005">*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材 I（③④～③⑦）を活用することもできる。</p>			



No. _____ Name _____

どのようにあいさつをすればいいのかな？



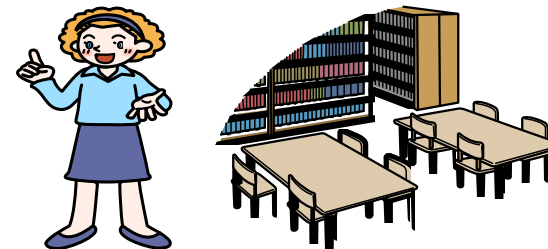
朝の校門

朝の校門でブラウン先生 (Ms. Brown) に会いました。
笑顔であいさつをしよう。



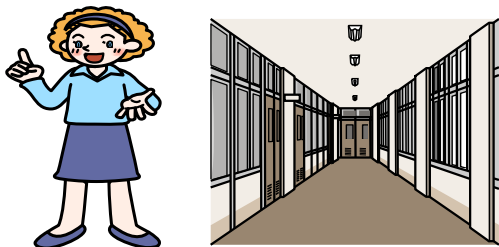
図書館

図書館でブラウン先生 (Ms. Brown) に会いました。
静かに優しくあいさつをしよう。



給食前の廊下

廊下でブラウン先生 (Ms. Brown) に会いました。
給食前でおなかパコパコだけれどもあいさつをしよう。



体育の後の校庭

体育の後の校庭でブラウン先生 (Ms. Brown) に会いました。
息を切らしながらもあいさつをしよう。



E-チャレンジ活用例

活動名	どのようにあいさつをすればいいかな？	言語材料	How are you? I'm <u>fine</u> , thank you. And you? My name is <u>Naoki</u> . I like <u>soccer</u> . Nice to meet you.
準備物	E-チャレンジ（資料①）		

☆どのようにあいさつをすればいいかな？

【評価の観点：コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

どのようにあいさつをすればいいかな？の手順（資料①）

- ① ワークシート（資料①）を配り、ワークシートに書かれた場面や状況を考えて、どのようにあいさつをすればいいのか考えるように伝える。
- ② T1 と T2 で、ワークシートに書かれた各場面や状況を考えて例に従って手本を示す。
例 *S: Hello.*
T: Hello.
S: How are you?
T: I'm happy, thank you. And you?
S: I'm good, thank you.
- ③ 学級を6グループ程度に分け、T1 と T2 は順に各グループのところへ行き、一人ずつカード（資料①）をひき、カードに書かれた場面や状況を考えて例のように児童とあいさつをする。
- ④ T1 または T2 が他のグループのところに行っているときは、グループ内で協力して場面や状況を考えたり、互いに練習し合ったりするように伝える。

*あらかじめカードは切り離しておく。

*ワークシート（資料①）を編集することもできる。

*音量や速さなど、場面や状況に応じて言い方を変えることができるように支援する。

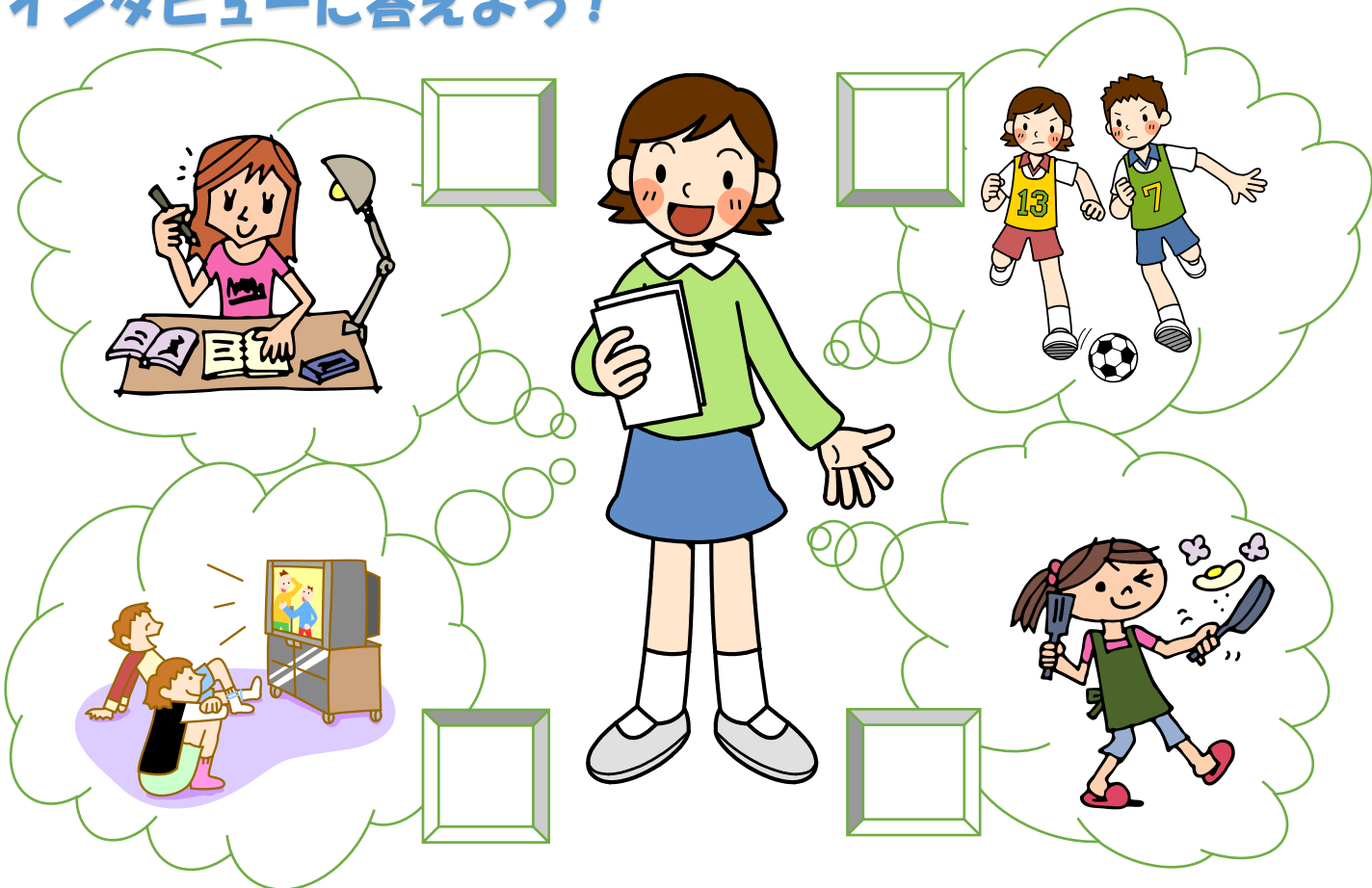


Let's インタビュー!

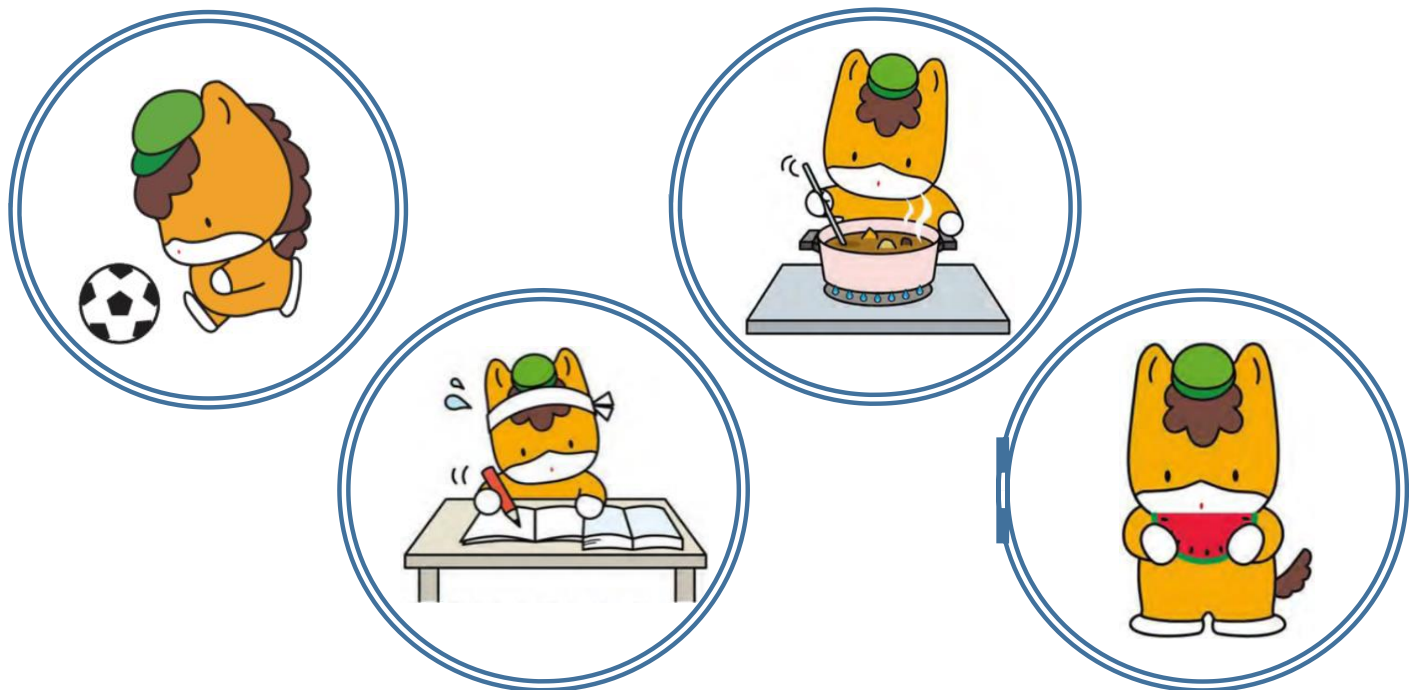
資料①

No. _____ Name _____

インタビューに答えよう!



ぐんまちゃんにインタビューしよう!



☆ 「Let's インタビュー！」の発話例

インタビューに答えよう！

T2: Do you study?

T2: Do you play soccer?

T2: Do you cook?

T2: Do you watch TV?

*どの質問に対して答えているかを見取るために、質問は3つにしぼるとよい。

E-チャレンジ活用例

単元名	Let's インタビュー！	言語材料	I <u>play soccer</u> . Do you <u>play soccer</u> ? Yes, I do. / No, I don't.
準備物	E-チャレンジ（資料①）		

☆Let's インタビュー！

【評価の観点：外国語を表現する力】

Let's インタビュー！の手順（資料①）

- ① 「インタビューに答えよう！」では、T2 の質問に、声に出して答えるように伝える。
- ② 声に出して答えた後、自分の答えが Yes, I do. であれば○を、No, I don't. であれば△を、聞かれた内容を表す絵の口の中に記入するように伝える。
- ③ 「ぐんまちゃんにインタビューしよう！」では、T1 が示したぐんまちゃんの絵に対して、声に出して質問を言うように伝える。
- ④ 声に出して言えたら、絵の枠を色鉛筆で塗るように伝える。
- ⑤ 他の絵についても③④を繰り返す。

* 答えや質問を言えたかどうかは、児童の振り返りを大切にする。

* ③では、どの絵を示しているか分かりやすいように、提示の仕方を工夫する。また、質問は1つとは限らないので、児童が考えた質問例を全体で取り上げてよい。

* 学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材Ⅱ（①～③）を活用することもできる。

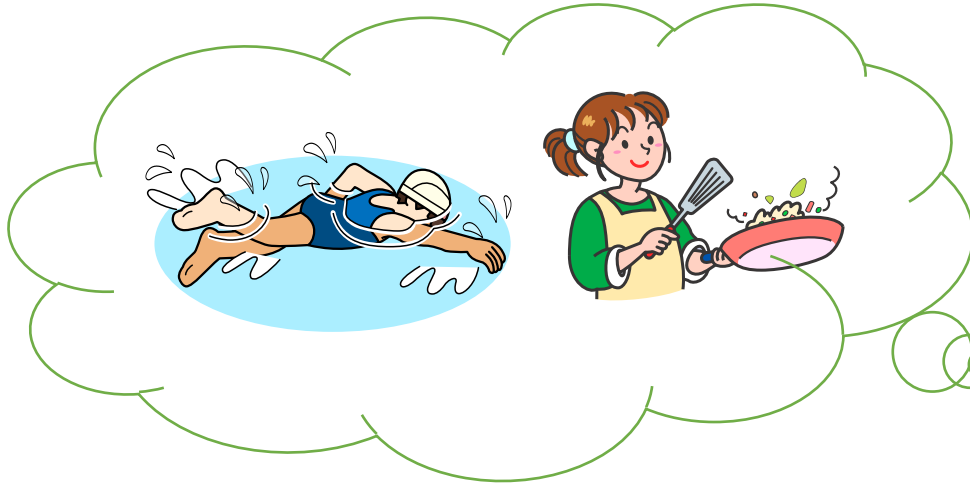
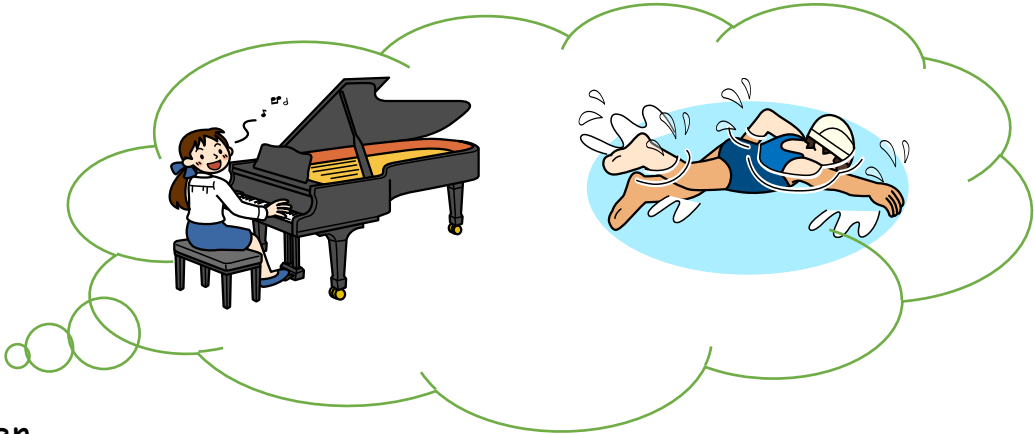


No. _____ Name _____

先生とできることが同じ人はだれだろう？



Ken



Yui



Aya

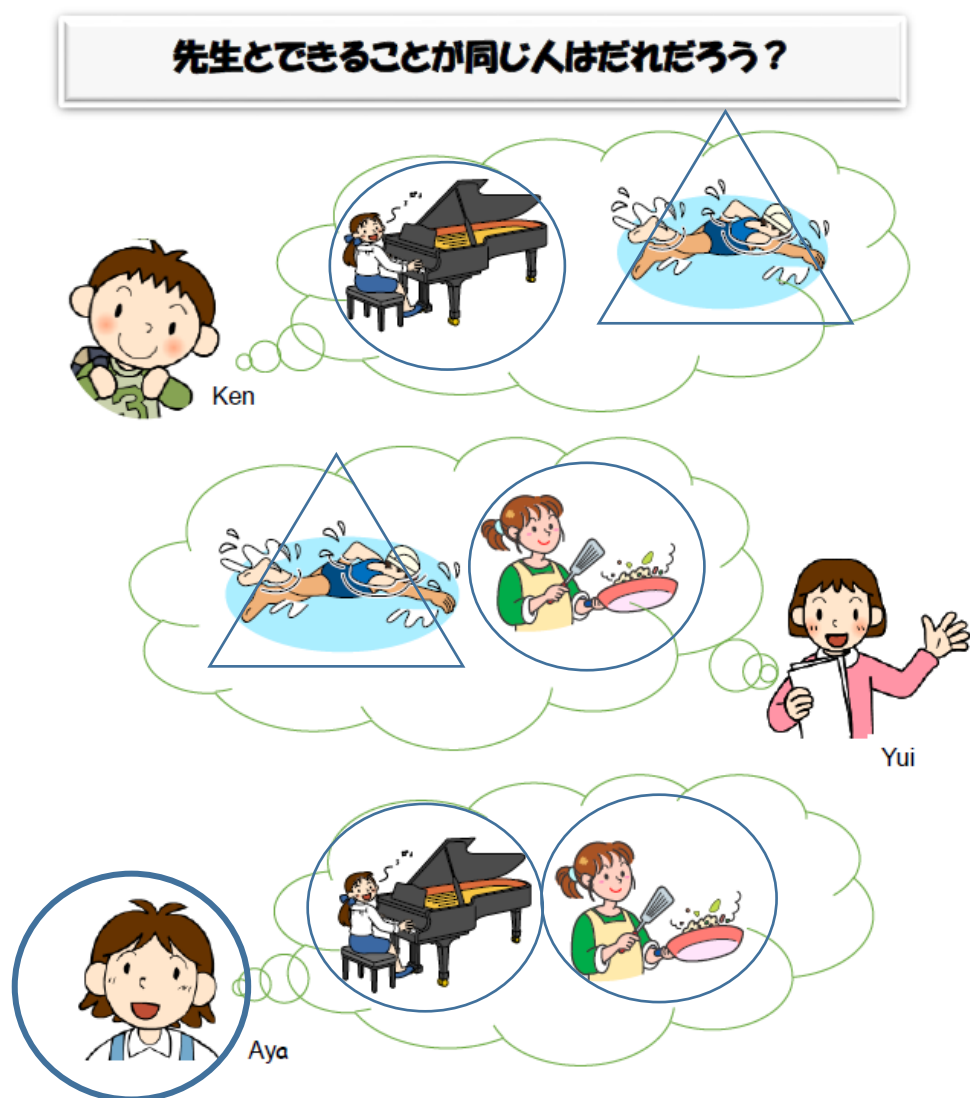


☆「先生とできることが同じ人はだれだろう？」の発話例

I can cook. I can play the piano. But I can't swim.

*身振り手振りなどの動作を工夫して、can と can't の違いを視覚的にも分かるようにする。

<答え>



E-チャレンジ活用例

活動名	先生とできることが同じ人はだれだろう？	言語材料	I can [can't] <u>swim</u> . Can you <u>cook</u> ? Yes, I can. No, I can't.
-----	---------------------	------	--

準備物 E-チャレンジ（資料①）

☆ 先生とできることが同じ人はだれだろう？

【評価の観点：外国語を理解する力】

先生とできることが同じ人はだれだろう？の手順 （資料①）

- ① ワークシート（資料①）を児童に配る。
- ② 吹き出しの中の絵は、3人がそれぞれ「できること」であることを伝え、その人物になったつもりで「できること」をT2の後について言うように伝える。
例 I can swim.
- ③ T2が言う発話例（先生のできること）を聞いて、先生ができることを表す絵は○で、できないことを表す絵は△で囲むように伝える。
- ④ 先生とできることがふたつとも同じ人物を○で囲むように伝える。
- ⑤ 答えを確認する。

*身振り手振りなどの動作を工夫して、canとcan'tの違いを視覚的にも分かるようにする。

*ワークシート（資料①）を編集することもできる。

*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材Ⅱ（④～⑥）を活用することもできる。



ぐんまちゃんショップへようこそ



No. _____ Name _____

ぐんまちゃんTシャツ(何て言うかな?編)



あれ、ほしいなあ…
いくらだろう??



1の言い方	2の言い方	3の言い方
○ △	○ △	○ △

ぐんまちゃんポストカード(10ドルで何枚買えるかな?編)



()



()



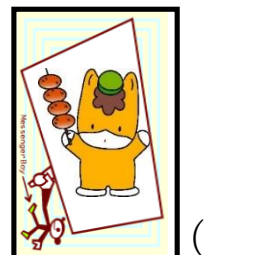
()



()



()



()

どのポストカードがクラスで
人気があったかな?

☆「ぐんまちゃんショップへようこそ」の会話例

ぐんまちゃんTシャツ(何て言うかな?編)

- 1の言い方 May I help you?
- 2の言い方 How much?
- 3の言い方 Here you are.

ぐんまちゃんポストカード(10ドルで何枚買えるかな?編)

- T1: May I help you?
- T2: I want a postcard.
How much?
- T1: Three dollars.
- T2: OK.

ぐんまちゃんTシャツ(何て言うかな?編)

あれ、ほしいなあ...
いくらだろう??

1の言い方	2の言い方	3の言い方
○ ▲	● ▲	○ ▲

ぐんまちゃんポストカード(10ドルで何枚買えるかな?編)

10ドル限定

\$10

3つのポストカード
を選んでいれば正解

どのポストカードがクラスで、
人気があったかな?

E-チャレンジ活用例




単 元 名	買い物を楽しもう	言 語 材 料	May I help you? I want a <u>postcard</u> . How much? <u>Ten</u> dollars.
準備物	E-チャレンジ（資料①）		
<p>☆ぐんまちゃんショップへようこそ</p> <p style="text-align: right;">【評価の観点：外国語を表現する力】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ぐんまちゃんショップへようこそその手順 （資料①）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ワークシートを児童に配る。 ② 「ぐんまちゃんTシャツ（何て言うかな？編）」では、T2の1～3の言い方を聞いて、お店の人に値段を聞くときの言い方であれば○に、そうでなければ△に色を塗るように伝える。 ③ 「ぐんまちゃんポストカード（10ドルで何枚買えるかな？編）」では、T1とT2の会話から、ポストカードの値段を聞き取り、10ドルで買えるだけの枚数の好きなポストカードを選んで、カッコ内に○を描くよう伝える。 ④ 答えを確認する。 </div> <p>*ワークシート（資料①）を編集することもできる。</p> <p>*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材Ⅱ（⑦～⑩）を活用することもできる。</p>			



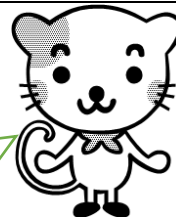
〇〇先生の日

No. _____ Name _____

〇〇先生の一日の生活予想ゲーム

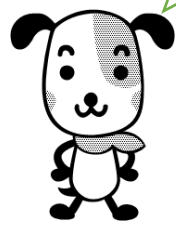
			
	get up	go to school	go to bed
あなたの予想	:	:	:
答え	:	:	:

あなたの予想は当たっていた？
先生がどんな一日を送っているのか、
ほかにも英語で質問してみよう！！

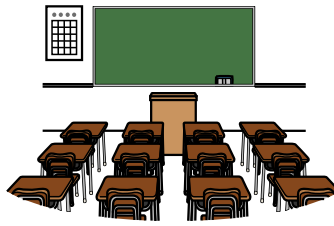


おまけ
何ができるかな？

先生が言う数のマス
を色でぬって
いこう！



1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	32	33	34	35
36	37	38	39	40	41	42
43	44	45	46	47	48	49



E-チャレンジ活用例

活動名	〇〇先生の日	言語材料	What time is it? It's <u>ten</u> . What time do you <u>get up</u> ? I get up at <u>seven</u> .
準備物	E-チャレンジ（資料①）		

☆ 〇〇先生の日

【評価の観点：外国語を理解する力】

〇〇先生の一日の手順

- ① ワークシート（資料①）を配布する。
- ② T2 の生活時刻を予想して、ワークシート（資料①）に記入するように伝える。
- ③ T2 の生活時刻を尋ねるように伝える。
例 S: *What time do you get up?*
T2: *I get up at six.*
- ④ T2 の答えを記入するように伝える。
- ⑤ 答えを確認する。

*手順⑤の後、予想と回答の時刻の違いや、分かったことなどを発表し合ってもよい。

*ワークシート（資料①）には、T2 の先生の名前を入れてから使ってください。

*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材Ⅱ（⑪～⑭）を活用することもできる。

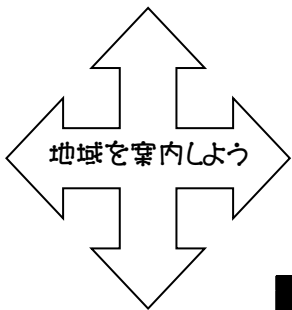
*おまけでは、下の例（35）を参考にクラスの数などが出てくるなど工夫するとよい。

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	32	33	34	35
36	37	38	39	40	41	42
43	44	45	46	47	48	49



No. _____ Name _____

どこへ行くのかな？



A crossword puzzle grid with various buildings and objects. The grid is composed of white squares and black squares. The letters are placed in circles at the intersections of the grid.

Start: スタート (Start) with an arrow pointing to the letter H.

Grid Content:

- Vertical (down):**
 - U (top)
 - X (middle)
 - E (bottom)
- Horizontal (right):**
 - V (top)
 - R (middle)
 - J (middle)
 - N (bottom)
- Other Letters:**
 - K, Q, A, Z (top row)
 - W, T (middle row)
 - S, P, I, G (middle row)
 - O, F (middle row)
 - H, C, M, B (bottom row)
 - D (bottom right)

Illustrations:

- U: Apartment building
- V: Apartment building
- X: Apartment building
- E: Modern building
- R: 24-hour store
- J: Church
- N: Police station
- W: Gas station
- T: Clock tower
- S: Restaurant
- P: Clock tower
- O: Restaurant
- F: Swimming pool
- H: Fish, cake, and bread
- C: Restaurant
- M: School
- B: School
- Q: Strawberry and bread
- A: Apartment building
- Z: Shrine
- I: School
- G: School
- D: School

おまけ①
どこに行くのかな？
道をたどると…



おまけ②
地図のにアルファベットが
25文字あるよ。
あとの1文字は何かな？

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

☆「どこへ行くのかな？」の発話例

T2: Are you ready?

Go straight.

Go straight.

Go straight.

Turn right.

Go straight.

Go straight.

Turn left.

Go straight.

Go straight.

Go straight.

Here is the goal.

解答例

どこへ行くのかな？

スタート

おまけ①
どこに行くのかな？
道をたどると...

おまけ②
地図のにアルファベットが
25文字あるよ。
あとの1文字は何かな？

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

E-チャレンジ活用例

活動名	どこへ行くのかな？	言語材料	Where is the school? Go straight. Turn right / left.
-----	-----------	------	---

準備物 E-チャレンジ（資料①）

☆どこへ行くのかな？

【評価の観点：外国語を理解する力】

どこへ行くのかな？の手順（資料①）

- ① ワークシートの「スタート」から道案内に合うように道筋を鉛筆でたどるように伝える。
- ② T2 は発話例を言う。
- ③ 目的地に着いたら、建物を○で囲むように伝える。

* 「目的地はどこだ」ゲームと同様に行う。

* おまけ①として、たどってきた道のアルファベットを順番に並べると **HOSPITAL**（病院）になることを伝えるとよい。



* おまけ②の答えは「Y」である。

* 学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材Ⅱ（⑮～⑰）を活用することもできる。

No. Name _____

自分の担当する国は・・・





Eーチャレンジ活用例

活動名	先生におすすめの国を紹介しよう！	言語材料	Where do you want to go? I want to go to <u>Italy</u> . You can eat <u>pizza</u> . You can see <u>soccer games</u> .
準備物	児童の作成したパンフレット（資料①）		

☆先生におすすめの国を紹介しよう！【評価の観点：外国語で表現する力】

先生におすすめの国を紹介しよう！の手順 （資料①）

- ① T1 と T2 が旅行者役になり、児童がツアーコンダクター役になる。
- ② クラスをふたつに分け、T1グループとT2グループを作る。
例 1～3班がT1グループで、4～6班がT2グループ
- ③ 各班の児童が、ひとりずつパンフレット（資料①）を用いて、おすすめの本国を紹介するのを聞く。
例 T1グループは1→2→3班の順に、T2グループは4→5→6班の順に進める。
- ④ 紹介が終わったら児童からの質問 Where do you want to go?に答える。
- ⑤ ③、④を繰り返し、全ての班の発表が終わったら、T1 と T2 でグループを入れ替わり、全員の児童の発表を聞けるようにする。

* 「なりきりツアーコンダクター」と同様に進める。

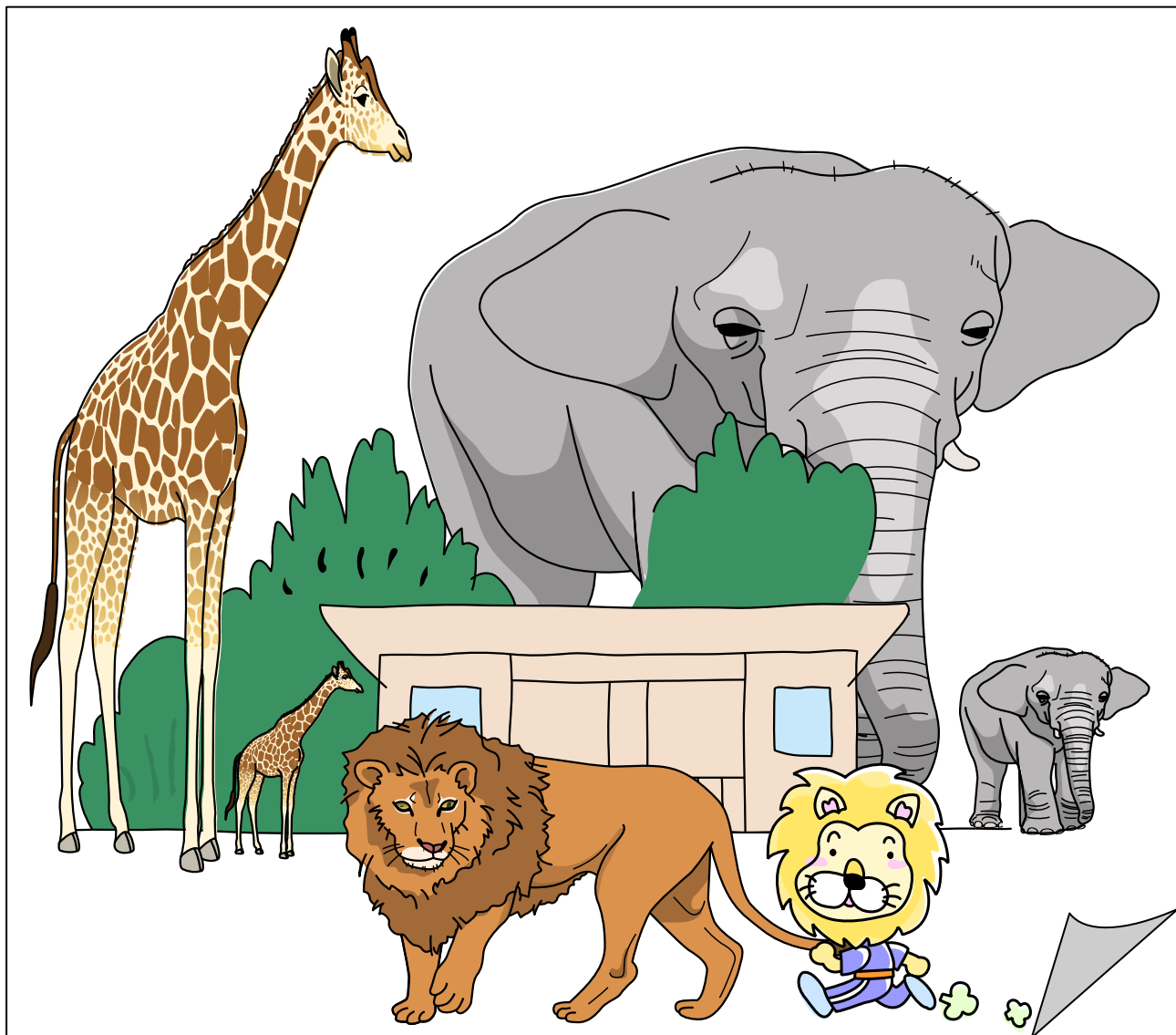
* 各班の発表が終わったら、聞いている全員で拍手をして紹介した児童のがんばりを褒めるようにする。

* T1 と T2 は反応を返したり、児童のがんばりを褒める声かけをしたりするようにする。



No. _____ Name _____

絵さがしクイズ



動物のようすをよく聞いて
合う絵を○で囲もう!



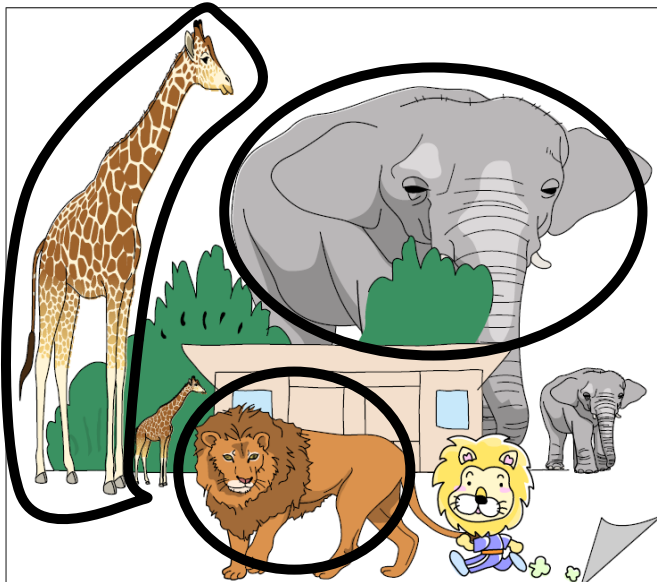
☆「絵さがしクイズ」の発話例

T2: I wrote the zoo to send me a pet.
They sent me an...elephant.
He was too big!
I sent him back.

T2: I wrote the zoo to send me a pet.
They sent me a...giraffe.
He was too tall!
I sent him back.

T2: I wrote the zoo to send me a pet.
They sent me a...lion.
He was too fierce!
I sent him back.

「絵探しクイズ」の答え



E-チャレンジ活用例

活動名	絵探しクイズ	言語材料	They sent me <u>an elephant</u> . He was too <u>big</u> .	
準備物	E-チャレンジ（資料①）			
☆絵さがしクイズ		【評価の観点：外国語を理解する力】		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="225 546 1469 741"> <p>絵さがしクイズの手順（資料①）</p> <p>① 絵本 <i>Dear Zoo</i> の読み聞かせをする。</p> <p>② ワークシートを配り、T2 の発話例を聞いてどの絵のことか考えて、絵を○で囲むように伝える。</p> </td> </tr> </table>				<p>絵さがしクイズの手順（資料①）</p> <p>① 絵本 <i>Dear Zoo</i> の読み聞かせをする。</p> <p>② ワークシートを配り、T2 の発話例を聞いてどの絵のことか考えて、絵を○で囲むように伝える。</p>
<p>絵さがしクイズの手順（資料①）</p> <p>① 絵本 <i>Dear Zoo</i> の読み聞かせをする。</p> <p>② ワークシートを配り、T2 の発話例を聞いてどの絵のことか考えて、絵を○で囲むように伝える。</p>				
<p>*絵本はジェスチャーを付け、ゆっくりと読み聞かせをするとよい。</p> <p>*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材Ⅱ（⑱～㉔）を活用することもできる。</p>				



先生の中学校紹介

No. _____ Name _____

チャレンジ1 先生はどんなことを紹介しているのかな？

 Japanese	 math	 social studies	 science	 hamburger	 steak	 pizza	 cake	 baseball	 soccer	 basketball	 tennis
 English	 music	 arts & crafts	 P.E.	 salad	 ice cream	 spaghetti	 hot dog	 badminton	 volleyball	 table tennis	 softball

チャレンジ2 先生たちは、それぞれどっちの中学校を紹介しているのかな？

ぐんま中学校

Japanese

math

English

pizza

salad

ice cream

tennis

badminton

上毛中学校

Japanese

math

science

pizza

salad

cake

tennis

volleyball

【 _____ 】先生

【 _____ 】先生

☆ 「先生の中学校紹介」の会話例

チャレンジ1

T1: What subject do you study?

T2: I study English.

T1: What food do you eat?

T2: I eat pizza.

T1: What sport do you play?

T2: I play tennis.

チャレンジ2

T1: Ms. Suzuki, what subject do you study?

T2: I study Japanese.

Mr. Sato, what subject do you study?

T1: I study math.

T2: Mr. Sato, what food do you eat?

T1: I eat salad.

Ms. Suzuki, what food do you eat?

T2: I eat pizza.

T1: Ms. Suzuki, what sport do you play?

T2: I play tennis.

Mr. Sato, what food do you eat?

T1: I play volleyball.

チャレンジ2の答え

T1の先生が「上毛中学校」

T2の先生が「ぐんま中学校」

E-チャレンジ活用例

活動名	先生の中学校紹介	言語材料	What subject do you study? I study <u>math</u> . What food do you eat? I eat a <u>hamburger</u> . What sport do you play? I play <u>baseball</u> .
準備物	E-チャレンジ（資料①）		

☆先生の中学校紹介

【評価の観点：外国語を理解する力】

先生の中学校紹介の手順（資料①）

- ① ワークシート（資料①）にある教科・給食・部活動の絵が表す語を、T2 に続いて言うように伝える。
- ② T1 と T2 でチャレンジ1 の会話例に沿ってやり取りをする。T1 と T2 のやり取りを見た後に、T2 が答えた教科・給食・部活動の絵を○で囲むように伝える。
- ③ T1 と T2 でチャレンジ2 の会話例に沿ってやり取りをする。T1 と T2 のやり取りを見た後に、それぞれの中学校について紹介している先生の名前を書くように伝える。
- ④ 答えを確認する。

*②では、T2 が実際に通っていた中学校について答えるようにするとよい。また、実態に応じて答えの数を調整するとよい。

*やり取りをする際は、「表情」「ジェスチャー」「あいづち」などを加え、コミュニケーションのモデルを示すように行う。

*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材Ⅱ（⑳～㉔）を活用することもできる。



～グリーティングカードを作ろう～

1. 見本を参考にして書き写してみよう。

見本

Dear Friends,

Happy Holidays.

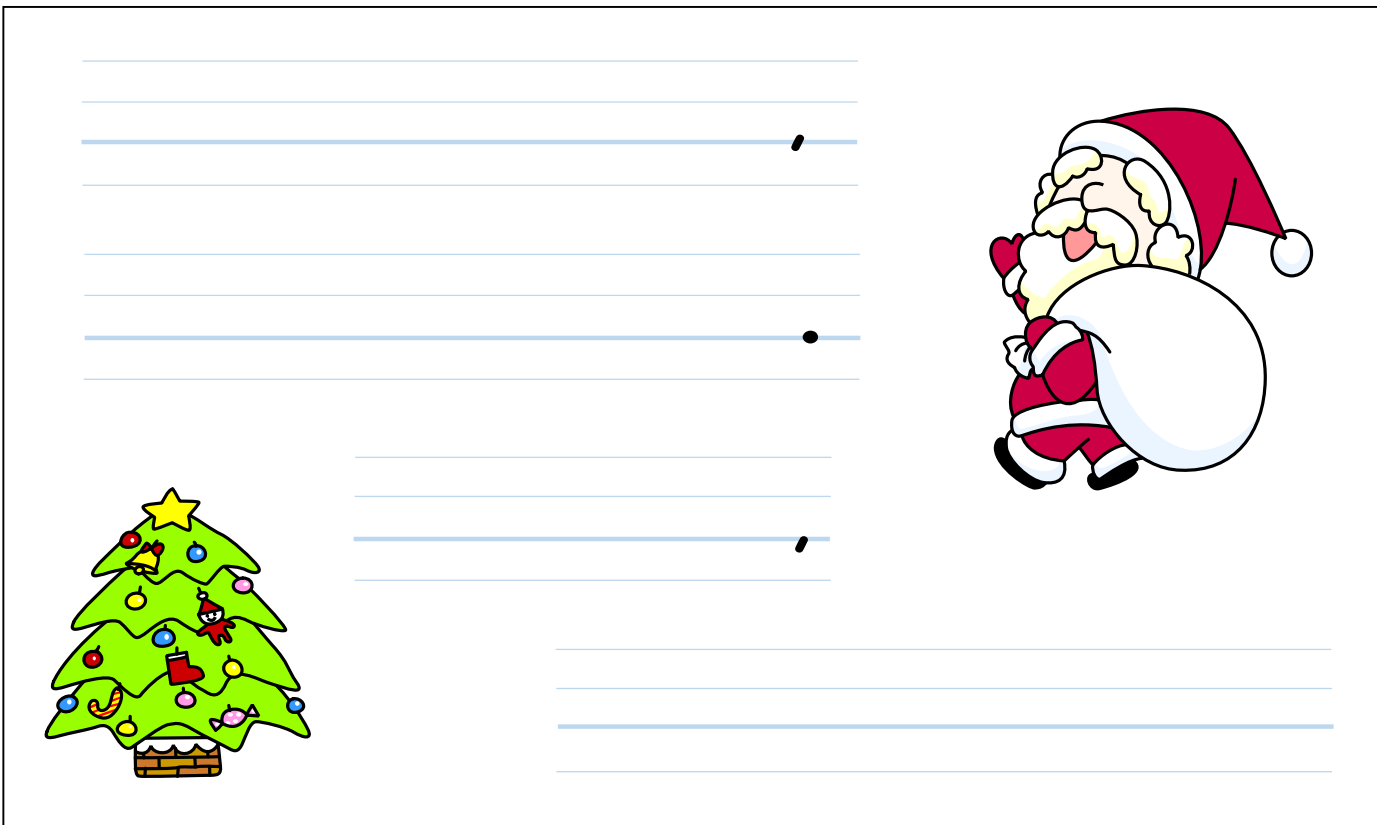
Yours,

自分の名前




No. _____

Name _____

2. 黒板に書かれた①と②を比べて、気付いたことを書こう。

① Happy Holidays.

② Happy Holidays.



3. グリーティングカードを渡すときや送るときに、あなたが気を付けたいことを書こう。

E-チャレンジ活用例

単 元 名	グリーティングカード作りを 楽しもう	言 語 材 料	Happy Holidays. Happy New Year. Dear friends, Yours, 自分の名前
準備物	E-チャレンジ（資料①）		
<p>☆グリーティングカードを作ろう 【評価の観点：コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>グリーティングカードを作ろうの手順 （資料①）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ワークシートを児童に配る。 ② 1番は、見本を参考にして書き写すよう伝える。 ③ 2番は、①と②を比べて、気付いたことを書くよう伝える。 ④ グリーティングカードを渡すときや送るときに、気を付けることを書くよう伝える。 </div> <p>*E-チャレンジ（資料①）を編集することもできる。</p>			



ぐんまちゃんの夢は何？

資料①

No. _____ Name _____

ぐんまちゃんの夢 de ポンゴ！



ヒントでわかる！？ぐんまちゃんの夢！



☆ 「ぐんまちゃんの夢は何？」の会話例

ぐんまちゃんの夢 de ボンゴ！

*以下から順不同で選んで会話例を読む。

- T1: What do you want to be? T2: I want to be a cook.
T1: What do you want to be? T2: I want to be a farmer.
T1: What do you want to be? T2: I want to be a teacher.
T1: What do you want to be? T2: I want to be an artist.
T1: What do you want to be? T2: I want to be a fire fighter.
T1: What do you want to be? T2: I want to be a driver.
T1: What do you want to be? T2: I want to be a doctor.
T1: What do you want to be? T2: I want to be a florist.
T1: What do you want to be? T2: I want to be a soccer player.

ヒントでわかる！？ぐんまちゃんの夢！

- T1: What do you want to be?
T2: Hint 1, sport. Can you guess?
T1: One more hint, please.
T2: OK. Hint 2, ball. Can you guess?
T1: One more hint, please.
T2: OK. Hint 3, racket. Can you guess?

*T1の One more hint, please.は、T1 に続けて児童に言わせてもよい。

<後半の会話例>

*児童が答えを選べた後に読む。

- T1: What do you want to be?
T2: I want to be a tennis player.
T1: Why?
T2: Because I like tennis, and I can play tennis very well! I like Nishikori Kei!
T1: Oh, I see. / Great!

答え



E-チャレンジ活用例

活動名	ぐんまちゃんの夢は何？	言語材料	What do you want to be? I want to be a <u>teacher</u> . Why? Because ~.
準備物	おはじき、E-チャレンジ（資料①）		

☆ぐんまちゃんの夢は何？

【評価の観点：外国語を理解する力】

ぐんまちゃんの夢は何？の手順（資料①）

- ① ワークシート（資料①）を配り、「ぐんまちゃんの夢 de ボンゴ！」のそれぞれの絵が表している職業名を T2 の後に続いて言うように伝える。
- ② おはじきを3個配り、職業を3つ選んで絵の上におはじきを置くように伝える。
- ③ T1 と T2 の会話例を聞き、T2 が答えた職業の枠を色鉛筆でなぞり、おはじきがあればとるように伝える。
- ④ 3つとれたら「ボンゴ！」と大きな声で言うように伝える。
- ⑤ 「ヒントでわかる！？ぐんまちゃんの夢！」では、T1 と T2 の会話例を聞き、どの職業のことか分かったら、枠を色鉛筆でなぞるように伝える。

* 「ぐんまちゃんの夢 de ボンゴ！」の会話例は全て行わなくてよい。

* 「ヒントでわかる！？ぐんまちゃんの夢！」の後半の会話例は、実態に応じて取り上げ方を工夫するとよい。

* 会話例を読む際は、「表情」「ジェスチャー」「あいづち」などを加え、コミュニケーションのモデルを示すように行う。

* 学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材Ⅱ（⑳～㉔）を活用することもできる。



DAKARA 迷路

No. _____ Name _____

チャレンジ 1

Sakura と Taku の思い出は何か？思い出の給食や場所とその理由の組み合わせを正しく作れるようにして、ゴールまでたどり着いてね。あなたはどこのゴールにたどりついたかな？

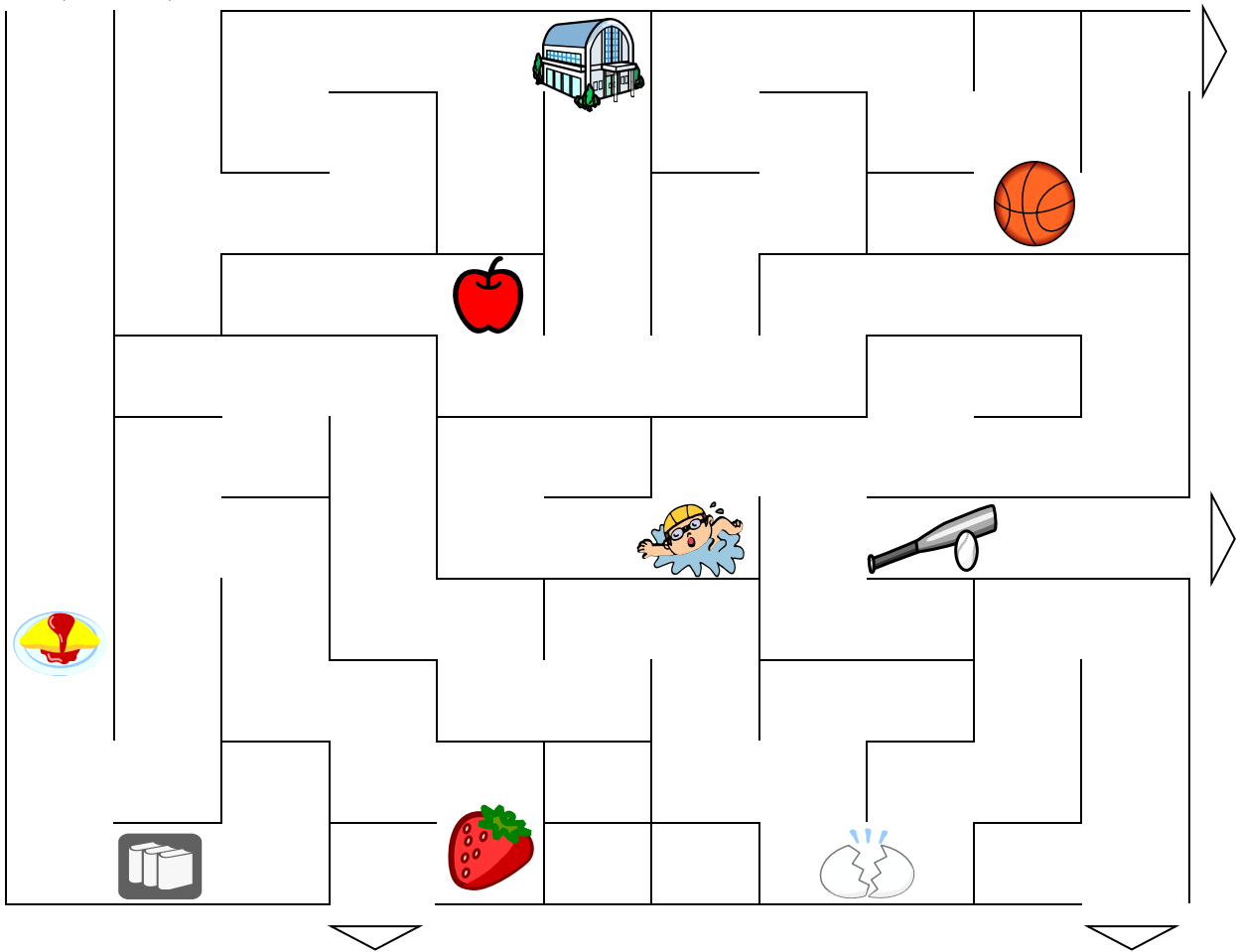
Sakura

わたしはあの給食が思い出深いわ。だって・・・だから。



Taku

ぼくはあの場所が思い出深いなあ。だって・・・だから。



チャレンジ 2

色鉛筆でたどってみよう！

チャレンジ 3

英語で言えるかな？



Yes, I can!

E-チャレンジ活用例

活動名	DAKARA 迷路	言語材料	My favorite <u>place</u> (school lunch / school event) is <u>the library</u> (curry and rice / Sports Day). Why? Because I <u>like books</u> (<u>running</u>).
-----	-----------	------	--

準備物 E-チャレンジ (資料①)

☆DAKARA 迷路

【評価の観点：外国語を表現する力】

DAARA 迷路の手順 (資料①)

- ① チャレンジ1では、さくらとたくの2人の思い出深い給食や学校の場所とその理由の組み合わせを鉛筆でたどってゴールまでたどりつくように伝える。
- ② チャレンジ2では、T1とT2の会話から、思い出深い給食や学校の場所とその理由の組み合わせを色鉛筆でたどってゴールまでたどりつくように伝える。
- ③ T2の後に続けて声に出すようにして答えを確認する。
- ④ チャレンジ3では、隣の人とのペアで、さくらとたくになりきって、思い出深い給食や学校の場所とその理由を言い、言うことができたなら自己評価で笑顔マークを○で囲むように伝える。

*ワークシート (資料①) を編集することもできる。

*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材Ⅱ (29～32) を活用することもできる。



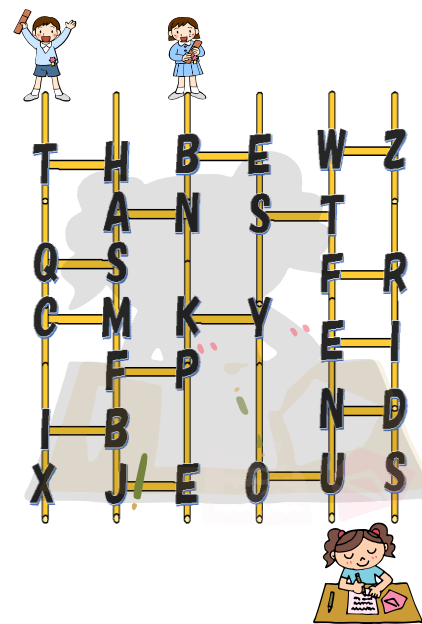
「ありがとう」の気持ち

6- No. Name _____



みんなにメッセージを伝えよう!

Blank handwriting lines for writing a message.



Blank handwriting lines for writing a message.

Let's Write ! 英語を通して、あなたはどんなことを学んだかな?



E-チャレンジ活用例

単 元 名	ありがとうレターを作ろう	言 語 材 料	Thank you.
準備物	E-チャレンジ（資料①）		
<p>☆「ありがとう」の気持ち 【評価の観点：コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ありがとうの気持ちの手順 （資料①）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業する友だちや先生たちのことを振り返るように伝える。 ② Thank you., Smile, Happy の語を T2 の後に繰り返して言うように伝える。 ③ 「みんなにメッセージを書こう」に、見本を見て、4線に書き写すように伝える。 ④ 書き写しが終わったら、絵を描いたりしてもよいことを伝える。 ⑤ 「Let's Write!」に今までの英語に関する感想を書くように伝える。 </div> <p>*児童から Good job.などの友だちや先生が元気になるような言葉を引き出して、その語を書き写してもよい。</p> <p>*T1 が確認した後、クラスや廊下に掲示して、鑑賞することもできる。</p>			